2016. 1. 22

【JMS 創立 50 周年／広島県へ「ペコぱんだ」を寄贈】
～口から食べる喜び・楽しみをサポート～

当社の創立 50 周年記念事業のひとつとして、
広島県老人保健施設協議会と広島県訪問看護ステーション協議会へ
舌トレーニング用具「ペコぱんだ」を寄贈しました。

口腔機能の健康・維持の大切さ

近年、国の医療政策において、口腔機能の健康を維持し、口から食べる楽しみを支援・充実させることが新たな課題とされています。健康を維持するためには、食事で十分な栄養を摂ることが必要です。

口から食べるためには、舌の運動機能が大変重要です。年齢と共にその機能は衰えてしまい、安全な食生活を維持するためには、舌のトレーニングが大切です。

広島県へ「ペコぱんだ」を寄贈

広島県では、県民が心身ともに健康であることを目指す「県民健康促進事業」に取り組まれており、当社もその事業に賛同しています。

そこで、創業時から当社を支え応援してくださる広島県の皆様の健康促進に役立てていただくため、広島県老人保健施設協議会及び広島県訪問看護ステーション協議会に「ペコぱんだ」 5,000 個を寄贈しました。

「ペコぱんだ」の活用が口腔機能の維持・向上をはじめ、健康促進に貢献することを願っています。

「ペコぱんだ」とは？

飲み込みに必要な舌と口蓋（こうがい）の接触力(舌圧/ぜつあつ)を鍛えるための自主訓練用トレーニング用具です。低下した舌の筋力が強化され、口や飲み込みに必要な機能の維持・向上につながることが期待されます。

贈呈式の様子（左：当社社長 奥窪、右：湯﨑広島県知事）

広島県老人保健施設協議会と共催でイベントに参加しました

広島県で開催された福祉・介護に関するイベント「介護の日フェスタ」に広島県老人保健施設協議会と合同企業展示を行いました。来場者の方々に、在宅での医療・介護の支援と、食べる為に必要な口腔機能の大切さを知っていただく良い機会となりました。

広島県老人保健施設協議会の皆さまと

これからも、医療機器の提供を通じて、人と社会に貢献できる企業を目指し取り組んでまいります。

以上